

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年7月17日～7月23日)

平成 26 年(2014 年)7 月 25 日

H E A D L I N E S

政治

右派三政党が選挙協力に合意
マレーシア航空機墜落に関するポーランド政府の対応
シコルスキ外相がオーストリア欧州・国際関係相と会談
コモロフスキ大統領が地域首脳会合を主催
シコルスキ外相が EU 外務理事会に出席
ポーランド政府が「ロシアにおけるポーランド年」、「ポーランドにおけるロシア年」の中止を決定

経済

ポーランド政府は新市場への輸出を推進
鉱工業生産は引き続き増加
6月の失業率は12.0%
消費は増加傾向が続く
新規受注は僅かに増加
47%のポーランド工場が R&D に投資を希望
ポーランド製自動車部品、欧州を駆ける
再生可能エネルギー法案が審議入り
コンパニア・ヴェングロヴァ社と三井物産社が新発電所建設に向けた協力文書に署名

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出

政 内	治 政
--------	--------

右派三政党が選挙協力を合意【19日】

19日、最大野党「法と正義」(PiS)、連帯ポーランド(SP)、「ポーランドと共に」(PR)の右派三党が来年秋の総選挙において共通の候補者リストを作

成する形で選挙協力することに合意した。カチンスキPiS党首は、右派は本日団結した、協力して選挙で勝利してポーランドを変えていく旨述べた。

外	交
---	---

マレーシア航空機墜落に関するポーランド政府の対応【17日～21日】

17日にウクライナ領域内にてマレーシア航空機が墜落したことを受け、ポーランド政府は主に以下の対応を行った。

18日、ポーランド外務省は、ポーランドは親露分離主義者が支配しているウクライナ東部における旅客機の墜落を断固として非難する、犠牲者の家族及び自国民がマレーシア航空機に搭乗していた国家に対して最も深い弔意を表する旨の外務省声明を発出した。

同日、トウスク首相は記者会見を行い、我々の情報に基づく分析はマレーシア航空機が分離主義者の支配下にあるウクライナ領土から発射されたミサイルによって墜落されたことを示している、本件墜落事案は例え実行犯が過失であったと釈明したとしてもテロ行為である旨述べた。

同日、コモロフスキ大統領は記者会見を行い、マレーシア航空機の墜落という結果をもたらしたウクライナ不安定化の試みは、ウクライナだけの問題ではなく国際社会の問題である旨述べた。

同日、トウスク首相はバイデン米副大統領、メルケル独首相、ルッテ蘭首相、ファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長、オランド仏大統領、キャメロン英首相と電話会談を行い、本件墜落につき意見交換した。

21日、コモロフスキ大統領は、オバマ米大統領と電話会談を行い、本件墜落につき意見交換し、今回の悲劇に対する大西洋間の連帯の重要性を強調した。

同日、トウスク首相はポロシェンコ大統領と電話会談を行い、本件墜落につき意見交換した。

シコルスキ外相がオーストリア欧州・国際関係相と会談【18日】

18日、シコルスキ外相はクルツ・オーストリア欧州・国際関係相と会談し、17日にウクライナ東部で発生した航空機墜落、ウクライナ危機、EU・ロシア関係等につき意見交換した。また両外相は、ポーラ

ンド国内6つ目のオーストリア名誉総領事館となる駐ビドゴシチ名誉総領事館の開会式に出席した。

コモロフスキ大統領が地域首脳会合を主催【22日】

22日、コモロフスキ大統領は、チェコ、ハンガリー、スロバキア、リトアニア、ラトビア、エストニア、ルーマニア及びブルガリアの大統領をワルシャワに招き、本年9月4～5日にウェールズで開催予定のNATO首脳会合を主要議題とする地域首脳会合を主催した。コモロフスキ大統領は、マレーシア航空機の墜落はウクライナ紛争を極めて劇的に象徴している、今回の悲劇を受けて我々はNATOの東側に位置する中・東欧地域の安全保障強化をより積極的に求めていく必要がある旨述べた。

シコルスキ外相がEU外務理事会に出席【22日】

22日、シコルスキ外相は、ウクライナに関するEU外務理事会に出席し、EU各国外相とマレーシア航空機の墜落への対応を協議した。シコルスキ外相は、今回の航空機墜落は分離主義者がロシア側から武器を入手した結果である旨述べ、この武器の入手を効果的に防ぐことが非常に重要であると強調した。同理事会は、制裁範囲の拡大を決定すると共に、制裁の第三段階の具体的内容を協議する方針を決めた。シコルスキ外相は、我々は24日に防衛分野及び資本市場やハイテク技術へのアクセスに関連する対露制裁を決定すべきである旨述べた。

**ポーランド政府が「ロシアにおけるポーランド年」、
「ポーランドにおけるロシア年」の中止を決定【23日】**

23日、ポーランド政府は、ウクライナ情勢及びマレーシア航空機の墜落を踏まえて、2015年「ロシアにおけるポーランド年」及び「ポーランドにおけるロシア年」の中止を決定した。同日、ヴォイチェホフスキ外務報道官は、右中止決定は閣僚評議会(閣議)によってなされ、同日中に駐ポーランド・ロシア大使に伝達された旨述べた。2015年「ロシアにおけるポーランド年」及び「ポーランドにおけるロシア年」は、両国民の文化交流を促進する目的で昨年12月の外相会談にて合意されていた。

経 済
経済・財政政策

ポーランド政府は新市場への輸出を推進【18日】
 経済省は、ウクライナ問題によるウクライナやロシアとの貿易の減少を受け、新たに11の海外市場への進出を促進することとしている。アゼルバイジャン、インド、インドネシア、モンゴル、マレーシ

ア、トルクメニスタン、ベトナム、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、セルビア及びマケドニアをその対象としている。この促進プログラムは、今年9月より半年間にわたり行われる。

マクロ経済動向・統計

鉱工業生産は引き続き増加【17日】

中央統計局(GUS)によれば、6月の鉱工業生産は、前年同月比で5月の同4.4%増より増加の割合は減少したものの、引き続き1.7%増であった。前月比では5月の同1.7%減より増加した0.1%減。また、季節調整後の数値は、前年同月比で2.1%増、前月比では0.4%増となっている。

6月の失業率は12.0%【23日】

中央統計局(GUS)によれば、6月の失業率は、前年同月の13.2%及び前月の12.5%より改善された12.0%であった。6月末の登録失業者数は1,912,600人で、新規求人は、前年同月の76,100人より多く前月の95,900人より少ない85,300人となっている。近い将来256の組織・団体が公共部門3,700人を含む21,400人を解雇予定と発表しており、前年同月の432の組織・団体による33,900人より大幅に減少している。

消費は増加傾向が続く【23日】

中央統計局(GUS)によれば、6月の小売販売は、前年同月比で5月の同4.3%増より増加の割合は減少したものの、1.2%増であった。実質ベースでは同1.8%の増加。なお、前月比では1.1%の減少となっている。自動車、家電、燃料等の比較的高額な消費支出が控えめとなっていることが、消費の減退につながっている。

新規受注は僅かに増加【23日】

中央統計局(GUS)によれば、6月の新規受注は、前年同月比で5月の同8.6%増より増加の割合は大幅に減少したものの、0.4%増であった。前月比では5月の同18.1%減より大幅に増加した3.2%増。輸出新規受注は、前年同月比で5月の同7.8%増に対し1.3%増、前月比で5月の同7.4%減に対し4.2%増となっている。

ポーランド産業動向

47%のポーランド工場が R&D に投資を希望【18日】

デロイト社のレポートによれば、47%のポーランド企業が今後2年間R&Dに投資したいと考えている。今後5年間で見た場合には、61%がR&Dに投資したいとしている(中欧地域の企業平均は前者が41%、後者が57%)。更に税金優遇措置が導入された場合、76%の企業がR&D投資を増加させるとしている。デロイト社は、企業のR&Dに対する見方が変わってきていると指摘している。R&D投資の活性化の動きは中欧地域全体で見られており、ポーランドは今期EU7カ年多次年度予算でR&D関連のEU基金を80億ユーロ割当てられている。この調査は、今年3月から5月にかけて、ブルガ

リア、クロアチア、チェコ、エストニア、リトアニア、ラトヴィア、ルーマニア、スロバキア及びハンガリーにある330社を対象として実施された。

ポーランド製自動車部品、欧州を駆ける【23日】

Gazeta Wyborczaによれば、ポーランドの自動車業界はこれまでにない好業績に沸いている。最新情報では3月の自動車部品輸出は約7億ユーロで、昨年比13.4%の増加。自動車産業がポーランドの輸出に占める割合は12%、雇用は全産業の9%を占める。主にポーランド国内で組み立てを行っている自動車メーカー向けとなっており、フィアットの例では62%がポーランド製となっている。こうした好況を受け、新しい工場への投資も伸びている。

エネルギー・環境

再生可能エネルギー法案が審議入り【22日】

再生可能エネルギーの導入拡大に向け、オークション制度の導入等を盛り込んだ再生可能エネルギー法案の審議が下院で開始された。提案理由説

明において、政府は90%を石炭火力発電に依存しているポーランドの現状において、エネルギーセキュリティの観点から再生可能エネルギー導入は死活問題であると強調した。

コンパニア・ヴェングロヴァ社と三井物産社が新発電所建設に向けた協力文書に署名【23日】

23日、コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社は、チェコにおける新規発電所建設プロジェクトに関し、三井物産との間で協力文書に署名した。この文書では、2015年第一四半期までに新規発電所

電力が供給する電力のバイヤーやファンディング等の諸条件について合意することとされている。KW社のタラスCEOは、今回の署名は事業及び収益源の多様化戦略に沿ったものであると話している。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【開催中】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/en,Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,
<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【開催中】第24回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ 2014【6月6日(金)～7月31日(木)】

ワルシャワにて、ヴィラヌフポスター博物館主催による『第24回ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ 2014』が開催されています。第23回同ビエンナーレに入選された御法川哲郎氏や今大会で国際審査委員を務められた原研哉氏をはじめとしたポスターが展示されています。

開催場所: ワルシャワ, Centrum Lowicka, ul. Lowicka 21

詳細: <http://biennale.postermuseum.pl/en/>

【予定】第14回日本文化フェスティバル【7月27日(日)～8月3日(日)】

ウストシキ・ドルネ市、プシェミシル市、クラシチン市、ヤロスワフ市にて、プシェミシル日本文化センター及びポーランド日本基金「大和」主催による『第14回日本文化フェスティバル』が開催されます。日本の伝統的な音楽や踊り、盆栽、俳句、茶道、墨絵等が予定されています。

開催場所：ウストシキ・ドルネ市（7月27日）、プシェミシル市（8月2日）、クラシチン市（8月3日）、ヤロスワフ市（8月3日）

詳細：<http://www.yamato.edu.pl/>

【予定】ポーランド相撲選手権大会及びポーランド相撲連盟 10周年記念イベント【8月9日(土)～8月10日(日)】

クロトシェン市にて、ポーランド相撲連盟主催によるポーランド相撲選手権大会が開催されます。特別ゲストとして元大関把瑠都関も参加します。また、ポーランド相撲連盟 10周年を記念し、ポーランド民主化 25周年記念展示や日本をテーマにした子供の絵画コンクール、日本舞踊、着物、生花、折り紙、どうぶつ将棋のワークショップ等様々なイベントが予定されています。

開催場所：クロトシェン市 Pałac Gafeckich 広場

詳細：ポーランド相撲連盟 ul.Mały Rynek 13, Krotoszyn 63-700

電話：62 725 74 39

【予定】水曜映画上映会「菊次郎の夏」【8月27日(水)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「菊次郎の夏」が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：info-cul@emb-japan.pl，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

【予定】「国境地帯の遺産」セミナー【8月28日(木)～9月6日(土)】

クラクフにて、国際文化センター主催による『「国境地帯の遺産」セミナー』が開催されます。EUIJ 東京コンソーシアムの研究者による V4 諸国の国家遺産に関する講座が予定されています。

開催場所：クラクフ，国際文化センター，ul. Rynek Główny 25

詳細：<http://www.mck.krakow.pl/page/wspolpraca-z-japonia>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）